

中外製薬株式会社 横浜研究拠点プロジェクト計画段階配慮書 配慮市長意見(案)

○全般的事項

- ・事業の計画、工事、供用の各段階において、近隣の住民や事業者とのコミュニケーションを図り、積極的な情報提供や丁寧な説明に努めてください。
- ・今後の事業の進展においては、本市の最新の計画等と整合を図るなど、適時、適切な配慮内容となるよう検討してください。
- ・配慮事項に対する配慮の内容を適切に事業計画に反映させるとともに、検討するとしている事項については、各々の検討状況を方法書に記載してください。

	配慮指針に掲げられている配慮事項	選定	事業者が配慮書で記載した配慮の内容(概要)又は非選定の理由	配慮市長意見(案)
基本的な配慮事項	<b>(1)【周辺環境への影響、生物の生息生育環境の保全や温暖化対策への配慮】</b> 計画地の選定や施設配置等の検討に当たっては、地形や周辺の土地利用状況等を踏まえ、周辺環境への影響を少なくする。 「生物多様性横浜行動計画」等に基づき、生物の生息生育環境の保全や景観機能等を考慮し、まとまりや連続性のある農地・樹林地、流域、貴重な動植物の営巣・生育地等の分断、改変を避ける。 また、低炭素型まちづくりを進めるため、「横浜市地球温暖化対策実行計画」等に基づき、温室効果ガスの排出削減を事業のあらゆる場面で実施するように計画段階から検討する。	○	<b>【施設配置】</b> ・計画地周辺に住宅等が立地していることを踏まえ、施設配置等を検討する。 ・西側敷地、東側敷地ともに、西側に緑地を確保して、西側道路沿道が連続するまとまった緑の空間となるよう検討する。 <b>【温室効果ガスの削減】</b> ・様々な環境負荷低減技術を検討し、温室効果ガス排出削減に資する計画とする。	・施設配置等については、住宅等が近接しているため、日影や風害、圧迫感の低減に配慮するとともに、住宅の居室への視線等にも配慮してください。 ・事業実施のあらゆる段階で省エネルギーに努めるとともに、温室効果ガスの排出削減の取組を推進してください。
	<b>(2)【環境関連情報の収集、及び環境資源等の現況把握】</b> 計画地及びその周辺の自然環境、社会文化環境等についての情報を収集し、環境資源等の現況把握を行う。	○	<b>【現況把握】</b> ・計画段階配慮書の作成を通じて、計画地及びその周辺の地域の概況について情報を収集し、現況の把握に努めた。	なし
	<b>(3)【計画段階からの安全な工法等の検討、市民への情報提供】</b> 工事計画の策定に当たっては、計画段階から安全な工法や工程等を検討し、市民への情報提供に努める。	○	<b>【工事計画】</b> ・騒音、振動等に配慮した工法を検討する。 ・安全面への配慮をする。 ・粉じんの飛散防止に努める。 <b>【市民への情報提供】</b> ・標識の設置や、近隣住民等への説明等、情報の提供に努める。	・圧密沈下の対策を示してください。 ・ボーリング調査については、沈下量の適正な評価のため、過去に載荷重を受けておらず、かつ今後盛土を高く積み場所で行ってください。 ・近隣は住宅地のため、工事用車両の通行方法については、近隣住民に配慮してください。
	<b>(4)【環境形成に関する法令等の遵守】</b> 環境負荷低減や、水とみどりの環境形成に関する法令や条例、指針等を遵守する。	○	<b>【法令等の遵守】</b> ・環境関連の法令、条例、指針等に従い、環境の創造や環境負荷低減に資する計画とします。 <b>【CASBEE横浜】</b> ・CASBEE横浜において、西側敷地の建物はAランク以上、東側敷地の建物はB+ランク以上の認証取得を目指し、環境負荷低減技術を検討する。	・環境負荷低減技術を積極的に導入する等により、CASBEE横浜において更なる上位ランクの取得に努めてください。
本事業に係る配慮事項	<b>(5)【工作物や敷地の緑化、及び生物の生息生育環境の確保】</b> 建物屋上や壁面、調整池などの工作物や、緩衝帯などの敷地の緑化を図り、生物の生息生育環境の確保に努める。緑化に際しては、郷土種中心の多様な植物の植栽や、表土の保全・活用など、生物多様性の保全と創造に努める。	○	<b>【緑化】</b> ・敷地内の緑化に関しては、多くの人の目に触れる場所に緑を創出し、街の魅力向上にも寄与する計画とする。 ・西側敷地・東側敷地ともに、西側が連続するまとまった緑の空間となるよう検討する。 ・緑化に際しては、郷土種を主体とした生物多様性向上に貢献する植栽計画を行う。	・計画地は河川に隣接し、また東側敷地の建築用地(将来)の計画が未定であるという特性により、今後どのような生物が分布する可能性があるかを検討してください。 また、それをふまえ生物多様性に配慮した緑化計画に努めてください。

配慮指針に掲げられている配慮事項	選定	事業者が配慮書で記載した配慮の内容（概要）又は非選定の理由	配慮市長意見（案）
<p><b>(6) 【エネルギー使用の合理化、及び未利用エネルギーの活用】</b> 高性能な省エネルギー型機器の導入などによりエネルギー使用の合理化を図る。また、太陽光発電設備などの再生可能エネルギーや、廃熱の有効利用などの未利用エネルギーの積極的な活用に努める。</p>	○	<p><b>【省エネルギー機器の採用及び再生可能エネルギーの活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率熱源システムや高効率照明器具等の採用を検討する。</li> <li>・遮熱高断熱複層ガラス等の採用を検討する。</li> <li>・冷温水の大温度差送水等による搬送動力の低減を検討する。</li> <li>・太陽光発電設備等による再生可能エネルギーの活用を検討する。</li> <li>・廃熱の有効利用等の未利用エネルギーの活用を検討する。</li> <li>・BEMS導入によるエネルギーの効率的運用を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー型機器や再生可能エネルギー設備等は、導入時点で利用可能な最善の技術や製品を用いるとともに、導入後もエネルギー使用量を把握・分析し、適宜運用改善を図り、また定期的に内容を見直すなどの配慮を行ってください。</li> </ul>
<p><b>(7) 【グリーン購入、グリーン電力の導入】</b> 建設資材や設備等の確保に際してはグリーン購入を図るとともに、調達可能な場合はグリーン電力の導入に努める。</p>	○	<p><b>【グリーン購入等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設資材や設備等の確保に際してはグリーン購入に努める。</li> <li>・グリーン電力の導入については検討する。</li> </ul>	なし
<p><b>(8) 【運輸部門における二酸化炭素の排出抑制】</b> 次世代自動車の積極的な導入、充電器等のインフラ整備、公共交通等の利用促進などにより、運輸部門における二酸化炭素の排出抑制に努める。</p>	○	<p><b>【公共交通の利用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の通勤には公共交通機関の利用を促し、二酸化炭素の排出抑制を図る。</li> </ul> <p><b>【充電設備等の設置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場内における電気自動車の充電設備等の設置を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社用車のほか社外の車両に対しても、アイドリングストップの励行等、エコドライブを促進してください。また、次世代自動車の導入についても検討してください。</li> </ul>
<p><b>(9) 【ライフサイクルを通じた温室効果ガスの低減、長寿命化】</b> 建設、運用、更新、解体処分など、ライフサイクルを通して、また工作物の長寿命化により、排出される温室効果ガスの低減に努める。</p>	○	<p><b>【長寿命化及び温室効果ガスの低減】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な建物は免震構造（一部の建物は耐震構造等）の採用により、建物の耐久性の向上を図る。</li> <li>・維持管理のしやすさに配慮した計画とすることで長寿命化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物や工作物、設備機器は修繕しやすい構造のものとするとともに、それらの長寿命化を図るなどして、事業全体を通じて温室効果ガスの排出低減を積極的に推進してください。</li> </ul>
<p><b>(10) 【ヒートアイランド現象の抑制】</b> 微気候に配慮し、人工排熱の抑制や緑化、保水性舗装、遮熱性舗装などの採用により、ヒートアイランド現象の抑制に努める。</p>	○	<p><b>【排熱抑制】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な省エネルギー対策により建物からの排熱抑制に努める。</li> </ul> <p><b>【緑化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西側敷地、東側敷地ともに、西側に緑地を確保して、西側道路沿道が連続するまとまった緑の空間となるよう検討する。</li> </ul> <p><b>【保水性舗装等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車路や歩行空間においては、保水性舗装または遮熱性舗装等の採用を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保水性舗装や遮熱塗装等、ヒートアイランド現象の抑制に資する対策を積極的に導入してください。</li> <li>・空調機器や給湯器等の設備を導入する場合は、人工排熱を抑制するため、高効率の仕様としてください。</li> </ul>
<p><b>(11) 【周辺建物との連続性、後背地との調和】</b> 街の個性や街並みの特徴を把握し、工作物外観の色彩や材質、工作物の形態・高さ等について、周辺建物との連続性や後背地との調和を図る。</p>	○	<p><b>【建築物の外観】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西側敷地の計画建物は、周囲に住宅等が近接することを考慮し、離隔をとるため東側に配置するとともに、ひとつながりの長大な壁面とならないよう形態を工夫する。</li> <li>・色彩や材質についても、周辺の街並みとの調和を図るよう、検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物壁面の分節化や壁面緑化の採用、外観の色彩やデザイン上の工夫により、更なる圧迫感の低減を図ってください。</li> </ul>

配慮指針に掲げられている配慮事項	選定	事業者が配慮書で記載した配慮の内容（概要）又は非選定の理由	配慮市長意見（案）
<p><b>(12)【火災、爆発、バイオハザードの発生防止】</b> 火災、爆発、バイオハザードの発生を防止するとともに、周辺への影響に留意した土地利用や施設の整備に努める。</p>	○	<p><b>【地震対策】</b> ・主な建物は免震構造（一部の建物は耐震構造等）の採用により、建物の耐久性の向上を図る。</p> <p><b>【水害対策】</b> ・柏尾川の氾濫で想定される浸水想定を考慮して、盛土による地盤の嵩上げなど、施設全般の配置レベルを検討する。</p> <p><b>【火災対策】</b> ・アナログ式感知器の導入による注意表示警報を利用し、火災の早期発見を図り、火災リスクの低減が可能な計画とする。</p> <p><b>【停電対策】</b> ・中央監視室、防災設備、排水処理設備、RI実験室の排気設備等は、停電時にも機能維持できるよう非常電源対応とする。</p> <p><b>【排水】</b> ・実験系排水は、生物系と化学系に分類し、排水処理設備にてそれぞれ適切な処理工程を経て公共下水道の放流基準以下として公共下水道へ放流、廃棄薬品・廃液は専門業者による引き取りを検討する。</p> <p><b>【情報提供】</b> ・本事業を進めるにあたっては、事業計画や安全対策等について、近隣住民等への説明等、情報の提供に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震等でライフラインに障害があった場合についても、安全や周辺環境に配慮した計画としてください。</li> <li>多種類の薬品類や実験動物、遺伝子組換え生物等を取扱うことから、管理面の対策及び体制の詳細について示してください。</li> </ul>
<p><b>(13)【製品の製造に用いる原材料の無害化】</b> 製品の製造に用いる原材料には、無害な原材料又は有害性の低い原材料を選択する。</p>	○	<p><b>【製品の製造に用いる原材料の無害化】</b> ・製品の製造を見据えて、無害な原材料又は有害性の低い原材料を選択するよう努める。</p>	なし
<p><b>(14)【熱源・燃料は電気又はガス】</b> 熱源・燃料は、電気又はガスを使用する。</p>	○	<p><b>【熱源・燃料は電気及びガス】</b> ・電気とガスを併用し、効率・省エネルギーに配慮する。</p>	なし
<p><b>(15)【低公害な設備の導入や高効率の公害防止施設の設置】</b> 最新の技術を用いた低公害な設備の導入や、高効率の公害防止施設を設置することにより、製造工程等で発生する大気汚染物質、水質汚濁物質、悪臭、有害化学物質、土壤汚染物質等を抑制する。</p>	○	<p><b>【熱源機器】</b> ・熱源機器は低公害型とし、窒素酸化物の発生を抑制して大気汚染防止に努める。</p> <p><b>【排気】</b> ・必要に応じて脱臭装置や有害化学物質も除去するスクラバー等を設置する。</p> <p><b>【排水】</b> ・実験系排水については、生物系と化学系に分類し、それぞれ適切な処理工程を経て放流水質基準以下にして公共下水道へ放流、一部は専門業者による引き取りを検討します。</p> <p><b>【土壤汚染防止】</b> ・実験系排水管は、地中埋設とせず、目視点検確認が可能な計画とするなど、土壤汚染防止対策を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺には住宅や病院があるため、低騒音機器の採用など騒音対策に努め、周辺に配慮してください。</li> <li>排水、排気については、モニタリング等を行い、良好な処理管理を行ってください。</li> </ul>
<p><b>(16)【ばい煙排出量を極力現状以下】</b> ばい煙発生施設を更新あるいは増設する場合には、窒素酸化物、硫黄酸化物、ばいじんの排出量（年間排出量）を極力現状以下にする。</p>	×	<p><b>【ばい煙】</b> ・工場跡地に研究所を新設する計画であり、既存のばい煙発生施設の更新あるいは増設には該当しません。</p>	なし
<p><b>(17)【排水汚濁物質排出量を極力現状以下】</b> 排水を排出する施設を更新あるいは増設する場合には、COD、BOD、SSの排出負荷量（年間排出量）を極力現状以下にする。</p>	×	<p><b>【排水】</b> ・工場跡地に研究所を新設する計画であり、既存の排水を排出する施設の更新あるいは増設には該当しません。</p>	なし
<p><b>(18)【厚生施設や広場等の市民開放】</b> 体育館やテニスコートなどの厚生施設や広場等は、可能な限り市民開放を行う。</p>	○	<p><b>【土地利用】</b> ・東側敷地は、南側にグラウンド等を設置し、地域の方々にも開放する計画とする。 ・西側敷地・東側敷地のそれぞれに近隣の方々ができる公園を検討する。</p>	なし

配慮指針に掲げられている配慮事項	選定	事業者が配慮書で記載した配慮の内容（概要）又は非選定の理由	配慮市長意見（案）
<b>(19) 【施設・文化財の移転、地域分断の回避】</b> 地域の住民に親しまれた施設の移転、文化財の消滅・移転及び地域の分断を避ける。	×	<b>【文化財】</b> ・「横浜市文化財地図」（横浜市 平成16年3月）によると、計画地に埋蔵文化財包蔵地は存在しない。	なし
<b>(20) 【周辺地域の地下水涵養機能への配慮】</b> 雨水浸透施設の設置や緑化、湧き水の保全により地下水の涵養を図る。	○	<b>【地下水涵養】</b> ・西側敷地・東側敷地ともに、西側にまとまった緑の空間となるよう検討し、地下水の涵養を図る。	なし
<b>(21) 【廃棄物の発生抑制等】</b> 廃棄物等の発生抑制、再使用及び再生利用を図るとともに、雨水の有効利用に努める。	○	<b>【工事中】</b> ・木材代替型枠やリサイクル材等のエコマテリアルの積極的な活用を検討する。 <b>【雨水の有効利用】</b> ・供用時は、雨水を植物灌水に有効利用するなど検討する。	・再生や再利用が可能な排水については、積極的に有効活用するよう検討してください。 ・廃棄物に係る3Rの取組を推進してください。
<b>(22) 【地下空間における浸水対策、避難設備の採用】</b> 大雨や洪水、高潮等による浸水が想定される区域において建物に地下空間を設ける場合は、地下空間の用途及び規模を考慮し、浸水を可能な限り生じさせない構造や避難設備の採用に努める。	○	<b>【水害対策】</b> ・柏尾川の氾濫で想定される浸水想定を考慮して、盛土による地盤の嵩上げなど、施設全般の配置レベルを検討する。	なし
<b>(23) 【交通集中の回避、歩行者の安全・利便性への配慮】</b> 駐車場整備に当たっては、充電器等のインフラ整備に努めるとともに、配置等については極力交通集中の回避や、歩行者の安全及び利便性に配慮する。	○	<b>【充電器等のインフラ整備】</b> ・駐車場内における電気自動車の充電設備等のインフラ整備を検討する。 <b>【歩行者の安全及び利便性】</b> ・配置等については極力交通集中の回避や、歩行者の安全及び利便性に配慮する。	・車両の出入の頻度や方法については、周辺に配慮した計画としてください。
<b>(24) 【風害等への配慮】</b> 風害、光害、日照障害等の影響を少なくする。	○	<b>【風害、日照障害】</b> ・計画建物は、敷地境界から離隔をとる、ひとつながりの長大な壁面とならないよう形態を工夫するなどにより、風害、日照障害の影響を少なくするよう配慮する。 <b>【光害】</b> ・計画建物周辺の建物立地状況を踏まえ、外装材の選定や、照明計画に配慮するなど、光害の影響を少なくするよう配慮する。	・周辺は住宅等のため、光害の影響が少なくなるよう、照明計画等については配慮してください。

環境情報提供書の概要 【総数0件】	
-------------------	--